

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)情報社会のくらし (英文名) Living in Information Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)竹口 幸志 (ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	(1)情報政策, (2)情報経済, (3)情報と法, (4)情報教育, (5)情報と倫理 (1)Policy, (2)Economics, (3)Law, (4)Education, (5)Ethics				
21. 授業概要	本講義では、情報政策、情報経済、情報と法、情報教育、情報と倫理の観点から情報社会のくらしにつ いて考察します。日々刻々と変化する社会において、情報技術が及ぼす影響やこれからの情報との付 き合い方について考えてみましょう。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	情報技術発展の歴史の変遷等に触れながら、情報化の概念を理解し、情報社会において情報の取捨 選択と主体的な活動ができる態度を養います。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1.情報化の概念を説明できる。 2.情報技術の発展の歴史を説明できる。 3.情報技術が及ぼす影響について説明できる。 4.情報社会を生きる上で規範意識をもち、主体的に判断および行動することができる。				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 情報社会とは</p> <p>第3回 情報技術の発達と動向</p> <p>第4回 情報産業の発達と動向</p> <p>第5回 情報社会における組織の変容</p> <p>第6回 情報化による文化の変容</p> <p>第7回 情報化が人間に及ぼす影響</p> <p>第8回 情報と教育</p> <p>第9回 知的財産権の保護と知的財産政策</p> <p>第10回 著作権の保護制度</p> <p>第11回 個人情報の保護とライフログビジネス</p> <p>第12回 セキュリティとサイバー犯罪</p> <p>第13回 法的責任, 信頼性と安全性の問題</p> <p>第14回 情報と倫理</p> <p>第15回 まとめ</p>	□	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため, 予習と復習を勧めます。	□	
28. 成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法: レポート, 討論, 試験等。</p> <p>成績評価の時期: 受講期間終了後, 成績処理を行う。</p> <p>成績評価の観点: レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力), 討論(学びあい, 助け合い), 試験(学習到達度, 主体的問題解決力等)。</p> <p>成績評価の基準: 第15回レポート(40%), 前半討論(15%), 後半討論(15%), 第2回～第14回確認試験(30%)</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎて課題(レポート, 討論, 試験を含む)を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注2: レポート, 討論, 試験等の課題にはすべて解答してください。</p> <p>解答されていない箇所がある場合, 当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注3: 質疑や学習のフィードバックは適宜行うが, 内容に応じて回答に時間を要する場合があります。</p> <p>注4: 動画視聴および課題提出が出席に相当します。</p>	☑	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	□
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講の条件: e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので, 操作に不安がある場合は, 所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。</p> <p>なお, 本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソ</p>		☑

	<p>コン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名</p>																																																						
<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>受講期間について:</p>	<p>教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。</p> <p>受講期間を十分に確認して受講してください。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について:</p>	<p>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。</p>																																																					
	<p>受講の辞退について:</p>	<p>受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。</p>																																																					
	<p>禁止事項について:</p>	<p>なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。</p>																																																					
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<p>教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。</p> <table border="1" data-bbox="371 981 1412 1182"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" data-bbox="371 1220 1412 1818"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>なし</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト</p> <p><a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input type="checkbox"/>																																																			

37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に設けない。電子メール (ktakeguchi@naruto-u.ac.jp) で問い合わせること。</li> <li>・教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>・技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に設けない。電子メール (ktakeguchi@naruto-u.ac.jp) で問い合わせること。</li> <li>・教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>・技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	動画の音声の一部文字起こししたテキスト資料あり		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目 分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コード ／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 初等中等教育における情報活用能力育成				
	(英文名) Cultivation of Information Use Skills in Elementary and Secondary Education				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)無し				
	(英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 長井 映雄				
	(ローマ字) NAGAI Akio				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningの ため、曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)情報活用能力, (2)情報教育, (3)学校教育 (1)Cultivation of Information Use Skills, (2)Information education, (3)School Education				
21. 授業概要	平成 29・30 年に告示された学習指導要領において、情報活用能力は言語能力、問題発見・解決能力と並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」の一つと位置付けられた。本講義では、小・中・高等学校の各学校段階で育成される情報活用能力を体系的に整理するとともに、学校における情報教育の現状等についても概説する。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	学校教育において情報活用能力の育成が求められる背景を理解するとともに、今後の情報教育の方向性について考える。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. これまでの情報活用能力育成の経緯を説明できる。 2. 小・中・高等学校で育成が目指されている情報活用能力を説明できる。 3. 今後の情報教育の方向性, 求められる資質・能力について説明できる。				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーション 第2回 小学校における情報活用能力育成① 第3回 小学校における情報活用能力育成② 第4回 中学校における情報活用能力育成① 第5回 中学校における情報活用能力育成② 第6回 高等学校における情報活用能力育成① 第7回 高等学校における情報活用能力育成② 第8回 まとめ		□
27. 授業時間外学習にかかわる情報	予習として、文部科学省「教育の情報化の推進」サイトを参考にするなど、事前に情報教育の動向を把握しておくことをお勧めします。		□
28. 成績評価の方法と基準	成績評価の方法:試験(毎回の小テストで評価する),レポート(ディスカッションの内容,第8回の課題レポートで評価する) 成績評価の観点:試験(学習到達度,主体的問題解決力等),レポート(客観性,批判的思考,新規性,妥当性,論理的思考,文章表現力) 成績評価の基準:試験(60%),レポート(40%) 注1:指定された期日を過ぎて課題(試験,レポート)を提出した場合,提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期限内に提出してください。 注2:試験,レポート,等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合,当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。 注3:毎回実施する小テストの未受験数が3回以上の場合は,合計得点に関わらず不可とする。		□
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	□
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。  受講人数制限:あり 香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名		□
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	なりすましによる受講と受験,レポート盗用,コンピュータ内への動画の保存・蓄積,インターネット上への無断配信・共有,掲示板における教職員,学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合,大学の規定に基づき厳正に対処します。		□

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>無し</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			□																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	□																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<p>特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</p> <p>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。</p> <p>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください</p>		□																																																			
	連携大学 学生向け	<p>特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</p> <p>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。</p> <p>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください</p>		□																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp		□																																																			
	連携大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp		□																																																			
40. 教員の実務経験について	<p>県立高等学校の情報科の教員として教壇に立った経験のある教員が、情報教育の活性化を進める方策を検討するための考察力を身につけるための授業を行う。</p>			□																																																			

41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こしたテキスト資料あり	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	教養基礎科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)絵本の研究 (英文名)Study of Picture Book				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語名)余郷裕次、平川恵実子 (ローマ字)YOGO YUJI, HIRAKAWA EMIKO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningの ため、曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	絵本 フロンタリティ 画面構成 色彩 モンタージュ picture book frontality screen structure color montage				
21. 授業概要	まず、主に絵本の絵について、我々が普段あまり意識しない部分、1. フロンタリティ(まるい大きな正面 顔) 2. 画面構成 3. 色彩 4. 絵本モンタージュについて分析する。 次に、絵本の読み聞かせにおける1. 右脳・左脳の関わり 2. 育児語motheries 3. スキンシップ 4. 視覚的共同注視について分析する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	絵本のメカニズムを理解するとともに、絵本の読み聞かせの効果について理解する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 絵本モンタージュのメカニズムを説明できる。 2. 絵本の読み聞かせの効果について列挙できる。 3. 絵本の読み聞かせと実践の意義を説明できる。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>○ 1回の授業の流れ1. 絵本の読み聞かせ 2. 絵本の分析① 3. 黙読の時間(15分間) 4. 絵本の分析② 5. 絵本の読み聞かせ</p> <p>○ 1回目: フロントリティ(まるい大きな正面顔)①／絵本『はじめまして』(すずき出版)  2回目: フロントリティ(まるい大きな正面顔)②／絵本『はらぺこあおむし』(偕成社)  3回目: 画面構成①／絵本『にゃーご』(すずき出版)  4回目: 画面構成②／絵本『りんごがたべたいねずみくん』(ポプラ社)  5回目: 色彩①／絵本『だるまちゃんとてんぐちゃん』(福音館書店)  6回目: 色彩②／絵本『ぐりとぐら』(福音館書店)  7回目: 色彩③／絵本『チリンのすず』(フレーベル館)  8回目: 色彩④／絵本『やさしいライオン』(フレーベル館)  * 中間レポート(6月20日締め切り)</p> <p>9回目: 絵本モニタージュ①／絵本『でんしゃにのって』(アリス館)  10回目: 絵本モニタージュ②／絵本『かいじゅうたちのいるところ』(富士房)  11回目: 絵本モニタージュ③／絵本『11ぴきのねことあほうどり』(こぐま社)  12回目: 右脳・左脳の関わり／絵本『バムとケロのにちようび』(文溪堂)  13回目: 育児語motheries／『いっきょくいきまます』(PHP出版)  14回目: スキンシップ／絵本「ともだちやシリーズ」(偕成社)  15回目: 視覚的共同注視／絵本「バムケロシリーズ」(文溪堂)  * 総括レポート(8月10日締め切り)</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>○ 「授業スケジュール」に示されている絵本を準備すると講義がよく分かる。</p> <p>○ テキスト『絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—』を使って復習する。</p> <p>○ 1日1回鏡に向かって自分自身に絵本の読み聞かせを実践する。</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	中間レポート(40%:6月20日締め切り)と総括レポート(60%:8月10日締め切り)によって評価する。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☑
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>○ 授業時間の中間に「黙読の時間」が設定されています。読む本は自由です。しかし、その時間中はその1冊のみを読みます。</p> <p>○ 「絵本の研究」の受講をきっかけとして、絵本も自身の読書生活に取り入れてください。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-88606-127-0	著者名	余郷裕次	
		出版社	徳島新聞社他	出版年	2010	
		金額	1,100	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	絵本のひみつⅡ—愛を届ける仕掛けとしての絵本—			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-88606-159-1	著者名	余郷裕次	
		出版社	徳島新聞社他	出版年	2020	
		金額	1,100	備考		
	参考書2	書名	絵本づくりトレーニング			
		I S B N	978-4-480-87120-9	著者名	長谷川集平	
		出版社	筑摩書房	出版年	1988	
		金額	1,870	備考		
	参考書3	書名	赤ちゃんは顔をよむ			
		I S B N	978-4-04405-216-4	著者名	山口真美	
		出版社	角川ソフィア文庫	出版年	2013	
		金額	649	備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	国語科講師として、国公立・私立の中学校・高等学校の教壇に立った経験や、国や地方公共団体等の教員研修に携わったことのある教員が、豊かな読書人となるための思考力や実践力を身につけるための授業を行う。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度	2. 開講学期	後期(後期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部	4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	教養基礎科目	6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 英語文学・英語学探訪 (英文名) Topics of English Literature and English Linguistics			
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し			
9. 担当教員名(教員ロー マ字表記)	(日本語) 藪下克彦(代表)、木口圭子(英語文学担当)、森山優成(英語学担当) (ローマ字) YABUSHITA Katsuhiko (representative)、KIGUCHI Keiko (English Literature)、MORIYAMA Kazushige (English Linguistics)			
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード		11. 昼夜		
12. 単位数	1単位	13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年次生・全学部	15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係なし	17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	イギリス詩、詩形、押韻、文法化、語彙化 English Poetry、Poetic Forms、Rhyme、Grammaticalization、Lexicalization			
21. 授業概要	(英語文学) 英米詩の形式ごとに取り扱う作品を選び、授業を進める(第4回を除く)。小説とは異なる文学形式で書かれた作品を鑑賞する意義を学ぶ。 (英語学) 自然言語の共通性や変化についてのトピックを通して、英語学研究の一端を紹介する。英語と日本語の比較も行う。			<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	(英語文学) 英語詩の形式について初歩的な知識を身につける。同時に、詩のテクニックに触れることで、英語という言葉の楽しさを味わってもらいたい。 (英語学) 自然言語の共通性や変化に関する初歩的な知識を学ぶ。			<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩脚や脚韻など、韻律についての基本的知識を学ぶ。</li> <li>・代表的な文学作品を鑑賞し、将来英語教育に携わるための教養の素地を育む。</li> <li>・自然言語の共通性や変化についての基礎的知識に基づいて、言語現象を説明できる。</li> </ul>			<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)				

25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1回目:バラッド 2回目:ソネット 3回目:ヴィラネル 4回目:20世紀の詩 5回目:日英語の比較 6回目:語彙化 7回目:文法化 8回目:統語変化				<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	(英語文学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出すること。質問があれば、メール等で積極的にコンタクトを取ってほしい。 (英語学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出すること。				<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	課題提出と、その結果によって評価する。また、毎回の課題提出が出席に相当する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。 注2: 課題にはすべて解答すること。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外となる。				<input type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学 学生向け	再試験なし			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	再試験なし				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名				<input type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・課題提出の〆切は厳守してください。 ・この講座を通し、皆さんの英語への興味がさらに深まれば幸いです。				<input type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	無し				<input type="checkbox"/>	
	教科書1	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	まず、メールで連絡をとってください。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	まず、メールで連絡をとってください。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kkiguchi@naruto-u.ac.jp(木口)、kmoriyama@naruto-u.ac.jp(森山)			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	kkiguchi@naruto-u.ac.jp(木口)、kmoriyama@naruto-u.ac.jp(森山)			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) デジタルものづくり入門				
	(英文名) Introduction to Digital Fabrication				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し				
	(英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)宮下 晃一				
	(ローマ字) MIYASHITA Koichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ものづくり, (2)デジタル, (3)3Dプリンタ, (4)3D-CAD, (5)設計 (1)Fabrication, (2)Digital, (3)3D-Printer, (4)3D-CAD, (5)Design				
21. 授業概要	3Dプリンタを使うと、誰でもが簡単にものづくりできる。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピーでき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でもが自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	3Dプリンタやレーザーカッターなど、デジタル技術を使ったものづくりの手法について概要を学び、3D-CADを用いた簡単な設計法を体験するとともに、情報化の進展に伴う今後のものづくりの可能性を展望する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	3Dプリンタやレーザーカッターを使ったものづくりの方法を理解する。 3D-CADを使って、各自が製作したい物の設計データを制作する。				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 授業の進め方。デジタルものづくりの概要。 第2回 3D-CAD演習・1 第3回 3D-CAD演習・2 第4回 3D-CAD演習・3 第5回 3D-CAD演習・4 第6回 3D-CAD演習・5 第7回 3D-CAD演習・6 第8回 課題製作			<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各自で3D-CADを使った演習を行って提出する課題がある。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。  注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期限内に提出すること。 注2: 課題にはすべて解答すること。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外となる。			<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。		<input type="checkbox"/>	
	連携大学学生向け	再試験は行わない。			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学100名・徳島大学100名・鳴門教育大学100名・高知大学100名・愛媛大学100名			<input checked="" type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)					
	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>
		ISBN	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		



33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	MAKERS 21世紀の産業革命が始まる			<input type="checkbox"/>
		ISBN	4140815760	著者名	クリス・アンダーソン	
		出版社	NHK出版	出版年	2012年	
		金額	2,090円	備考		
	参考書2	書名	基礎からのFreeCAD			
		ISBN	4777519317	著者名	坪田 遼	
		出版社	工学社	出版年	2016年	
		金額	2,640円	備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	<p>必要。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。</p> <p>※Fusion360の動作環境について</p> <p>&lt;Windowsの場合&gt; OS: windows 7 SP1 か windows 8、windows 8.1、windows10。CPU:64bitのプロセッサ(32bitはサポート外)。メモリー:3GB(4GB推奨)。ネット回線:ADSLかそれ以上。HDDの空き容量:2GB以上。グラフィック:512MB GDDR RAM(数年前のPCでも余裕でクリアできると思われる)。ポインティングデバイス:マウス。</p> <p>&lt;Macの場合&gt; OS: Apple® macOS™ Mojave v10.14; Apple® macOS™ High Sierra v10.13; Apple® macOS™ Sierra v10.12。その他の項目はWindowsと同じ</p> <p>大学によっては学生用PCで使える場合がある。</p>	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	

	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	無し		<input type="checkbox"/>
4 1. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料あり		<input type="checkbox"/>
4 2. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 学校とICT教育				
	(英文名) School and ICT Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志				
	(ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ICT, (2)学校, (3)教育, (4)情報教育, (5)児童生徒 (1)Information and Communication Technology, (2)School, (3)Education, (4)Information Education, (5)Pupils				
21. 授業概要	児童生徒の情報行動の現状や学校におけるICT活用の状況について概観する。また、小学校、中学校、高等学校をはじめとした学校教育における情報教育の現状についても概説する。総じて、児童生徒のICT活用の現状を踏まえ、学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の情報行動の現状について理解する</li> <li>学校におけるICT活用の現状について理解する</li> <li>学校教育における情報教育の現状について理解する</li> <li>学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える</li> </ul>				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の情報行動の現状について説明することができる</li> <li>学校におけるICT活用の現状について説明することができる</li> <li>学校教育における情報教育の現状について説明することができる</li> <li>学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について判断することができる</li> </ul>				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーション 第2回 児童生徒の情報行動 第3回 学校におけるICT活用 第4回 小学校における情報教育 第5回 中学校における情報教育 第6回 高等学校における情報教育 第7回 学校における情報教育の課題と今後の方向性 第8回 まとめ		<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため、予習と復習を勧めます。 予習として、文部科学省の教育の情報化の推進サイト等、情報教育に関する情報を事前に読んでおくことをお勧めします。復習として、講義で学んだ内容を復習しておくことをお勧めします。		<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	成績評価の方法:試験, レポート, ディスカッション 成績評価の観点:試験(学習到達度, 主体的問題解決力等), レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力) 成績評価の基準:第2回～第8回の確認試験(30%), 第8回のレポート(40%), ディスカッション3回(30%) 注1:指定された期日を過ぎて課題(試験, レポート, ディスカッション)を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。 注2:試験, レポート, ディスカッション等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合, 当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。 注3:質疑や学習のフィードバック:適宜行いますが, 内容に応じて回答に時間を要する場合があります。 注4:動画視聴および課題提出が出席に相当します。		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。  受講人数制限:あり 香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	受講期間について	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について	履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。	

	受講の辞退について	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。				
	禁止事項について	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。				
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。					
	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	無し 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。		<input type="checkbox"/>		

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料あり		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>